

あがの民商ニュース

なくそテ原発2016 柏崎集会

なくそテ原発柏崎集会が3日(土)に柏崎市のファルフォーレで開催されました。約1300人が参加しました。(阿賀野市から20名以上参加)

首都圏反原発連合のミサオ・レッドウルフさん・原発をなくす全国連絡会の柿沼真利さんがあいさつを行いました。

ミサオさんは鹿児島県では原発反対の知事が誕生した。そんな矢先に新潟県の泉田知事が不出馬を表明したことには大きなショックを受けました。しかし再出馬署名に取り組み「泉田さんには出馬をしてもらいたい」と強く思っていると述べました。

柿沼さんは、安倍政権は福島避難区域をどんどん解除させていき、「地元に戻ってください避難しなくてもいいですよ」「避難するなら自己責任・自己負担」という政策をとり始めている。「ほぼ廃墟とした自治体に普通に帰って生活できるのだからか」と述べ、「原発再稼働は徹底して反対していかねばならない。これからは脱原発にむけて頑張りますよ」と訴えました。



阿賀野民主商工会
阿賀野市南安野町一三八
☎〇二五〇六二七一五八

NO 1571

商売くらしに役立つ!
全国 商工新聞
月/500円

講演は、「脱原発をめざす首長会議」世話人の三上元湖西市長(静岡県)から「原発立地県からの発言」を聞かせていただきました。

三上市長は、国防の第一は、相手から攻撃されたら原爆に変わってしまう原子力発電所をなくすことが国防の第一だ。国防の第一はアメリカの片棒を担いで、どこかでアメリカの為に援助する軍隊を送るといふ小さいバカバカしいことやっつてはダメ。大きなことは原発をやめること。日本には相手から攻撃されたら原爆にかわる原発が54基もある。相手国から見れば日本のアキレス腱は原発。これは軍人の鉄則。アメリカでは一つの原発を守るのに400人の警備は当たり前、日本では400人はいない、「ノーテンキ」としか言えない。「戦争になれば必ず原発は標的になる」と述べ、「環境問題・原発労働者管理・原発コスト・使用済み核燃料処分先」などの問題を訴えました。

集会後、デモ行進を行い、「原発廃炉」「原発いらぬ」「電気は足りてる」と訴えながら市内を行進しました。

「事務所留守にします」のお知らせ

9月13日(火)午後から県の事務局長会議に出席の為、事務所を留守にします。
夜も引き続き県連の会議のため夕方方も戻りません。

